肩書き「素浪人」、面目躍如かな　(^_-)

先日で、ある学校の半期の授業を終えた。
最終日の授業を終えると、どうしたことか学生から拍手がわき起こり、また、「先生の写真を撮らせて！」というので、一緒に写真を撮った。
講演ではお義理の拍手をいただいたことは度々あるが、授業で拍手をいただいたのは初めての経験だけに、(@_@)

また、その夜、ある学生からのメールの中に次のような一文。
「今日まで熱い講義をありがとうございました。
先生は弱き者を助け、悪しき者に立ち向かう、まるで侍のようでかっこいいなと思いました。」
リタイヤ後、そう気遣いのない会合では「今は、素浪人をやってる阿部です」と自己紹介しているだけに、「侍」の語彙を目にしてこの上なく(^^)/~~~
（そう言えば、W 杯日本代表のユニホームのデザインイメージは「サムライ」とか、これもここでは横道に逸れた話かな、　_(_^_)_　)。

どの学校でも１回目の授業の最初に、「与えられる知識は応用が効かない。求める知識は知恵となる。」と板書し、学ぶ姿勢を問いかけてはいる。もし、授業中に求めようとせずに居眠りしたら、それは学生の自己責任。
また、「板書を写せば『学んだ』と錯覚しないために、また、将来の職場で大事なことは自分でメモる練習のために！」と話し、自分はあまり板書はしない方（書字が不味く、板書の苦手な言い訳かな、　<(_ _)>　)。
ビデオを見せたり資料を配布し、教科書に触れながらも「○Ｐ～○Ｐを、後でじっくり読んでおくように！」と云い、後はひたすら語りかけ、問いかけ、思考を促しているが、そこから“熱さ”を感じてくれるのかな(*^_^*)
更に、確かに私は、最近知り得たテーマに関係する情報、知識を自分がどう咀嚼してるか、毎時間のテーマに絡ませて話したくなるタチ。
日常に活かすことが出来てこそ、自分の知恵になると思っているので、つい授業に熱が入っているのかも。
教える側が、まずは楽しんで授業しないと、学生も楽しく学べなよね　!(^^)!

それだけに、毎時間横道に逸れることも多々あるので、学生には申し訳なく、m(_ _)m。

全授業を通して、「自分は子どもたちに何を説くべきか、それを考えるのが教師である。それは教師の第一歩であり、最後であろう。」ということを、素直に実践しているつもり(^_-)
これも、知り得た知識を、ＨＰで活用できなかなとの試行かも……　(^_^;)

（2006 年 6 月 1 日　記）